

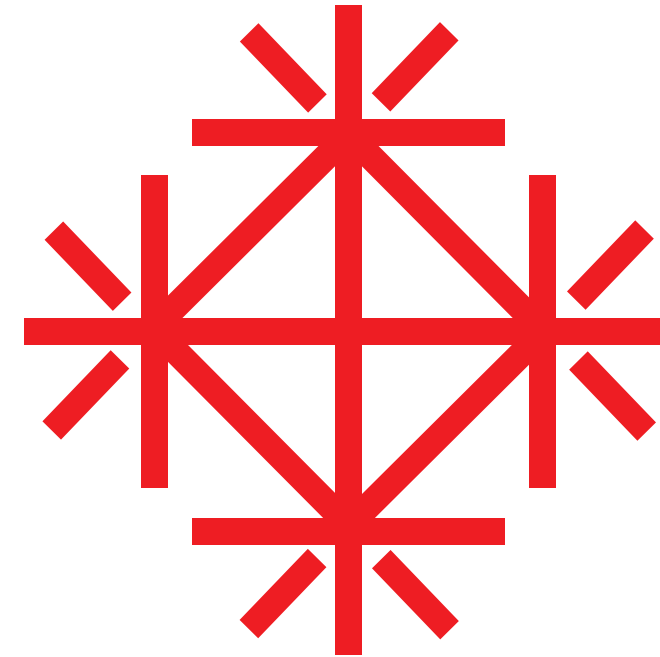
株主メモ

決算期 毎年9月30日
定時株主総会 毎年12月に開催いたします。
基準日 定時株主総会については9月30日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
配当金受領株主確定日 9月30日および中間配当金の支払いを行うときは3月31日
名義書換代理人 東京都千代田区永田町二丁目11番1号
三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区永田町二丁目11番1号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先 〒171-8508東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
郵便物送付先 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先 TEL (03) 5391-7680 (代表)
同取次所 三菱信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞 日本経済新聞

(届出諸事項についてのお知らせ)

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。

JASDAQ
証券コード:2700



KITOKU SHINRYO

第54期

中間事業報告書

平成13年10月1日～平成14年3月31日

木徳神糧株式会社

URL <http://www.kitoku-shinryo.co.jp/>

品質No.1宣言

私たちがめざす企業像

【企業価値】

木徳神糧は、お客さまのニーズに応えるとともに、「環境」とのかかわりを重視することに価値を置きます。「環境」重視とは、私たちを取り巻くすべての関係を大切にすることであり、社会と共生し、ともに成長し続けることです。

【経営理念】

1. 経営のあらゆる面で品質No.1をめざし、すべてのお客さまに対して誠意と感謝の気持ちを持って接します。
 2. 環境の変化に積極的に対応し、独創的で革新的なリーディング・カンパニーの役割を果たします。
 3. 人を生かし、活力とチャレンジ精神に満ちた、パワフルな企業であり続けます。
- 私たちはこうした理念のもと「コメをコアとした食と暮らしの提案」を積極的に行い、自らの力で市場を切り開いていきます。

マークにこめられた木徳神糧のスピリット

人が生きていくエネルギー源となる「米」。その「米」が人と人、人と社会を結び、ネットワークを形成していく...。このマークには、コメの供給を社会的使命とする木徳神糧が、消費者、取引先、株主、従業員など、あらゆるステークホルダーと良好な関係を築き上げ、限らない発展を遂げていくという、強い決意がこめられています。

株主の皆さまへ

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。当社第54期中間事業報告書をお届けするにあたりまして、日頃のご支援に対して心よりお礼申し上げます。

当中間期における我が国経済は、金融機関の不良債権処理が一段と進められるなか、倒産企業の増加や政府における景気刺激策が欠如していたことなどにより、デフレ状態が引き続き継続するという最悪の環境にありました。国内消費は依然として盛り上がり欠け、消費者は「低価格」志向を強めています。当社の主力商品である米穀におきましても、需給環境は緩み新米価格はじりじりと下降を続けるなど、米穀流通業界は非常に厳しい状況にあります。

このような厳しい環境のなか、当社は、「伝統的な米穀卸から精米メーカーへの転換」をビジョンに掲げ、高収益構造への体質変換を目指した事業活動を積極的に推進してまいりました。当中間期におきましては、米穀関係会社の工場統合や退職金制度の廃止などにかかる特別損失、無洗米を中心としたTVコマーシャルでの宣伝広告費などの経費増もありましたが、無洗米による精米事業の好調や、精米製造工場の合理化により無洗米工場の稼働率が高まったこともあり、連結では、売上高48,698百万円、経常利益488百万円、中間純利益324百万円、単独では、売上高38,229百万円、経常利益177百万円、中間純利益146百万円の結果となりました。

今後の見通しにつきましては、全般的に景気が好転する気配はなく、引き続き激しい価格競争が継続するものと考えております。当社は、引き続きコストダウンに注力するとともに、米穀関連新商品の開発スピードをあげ、玄米、精米に次ぐ商品群の製品化を進めるとともに、企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

木村良

伝統的な米穀卸から、 精米メーカーへの転換を目指して。

木徳神糧では「伝統的な米穀卸から精米メーカーへの転換」をビジョンに掲げ、高収益構造への体質転換を目指しています。短期的には、無洗米の拡販、付加価値型の新商品の開発、e-コマースの研究に取り組むとともに、より一層のコストダウンを推進。中長期的には経営の合理化や効率化に努めることで、主力の米穀事業では継続してシェアを拡大し、食品事業では売上高を拡大してまいります。どうぞ、これからの木徳神糧にご期待ください。

【 中長期の経営戦略 】

米穀事業



独自の品質管理や生産ノウハウを活かせるアライアンスを進める
M & Aを推進する
規模の拡大によるスケールメリットを活かした仕入、製造、および物流のコスト低減を図る
グループの生産体制の再構築を通して、専用工場および多機能工場の確保による生産性の向上を図る
コメに関するコンサルティング力の蓄積とプロフェッショナル化を推進する
無洗米の拡販を通して自社ブランドを確立するとともに、全国販売体制を強化する

食品事業



経営のスピードアップを図るため、食品事業を分社化し食品関係会社と統合させる
M & Aによる業容の拡大を目指す
「健康」を切り口に、新製品の開発体制を強化して加工食品の取扱いを拡大する

多様なニーズに対応した多品種少量生産 の精米工場『飛翔館』が完成。

近年、特定産地や特定生産者が生産したお米をはじめ、有機栽培や減農薬栽培、減化学肥料栽培など、特別な栽培方法で生産されたお米などの「こだわり米」へのニーズが高まっています。多様なニーズに応えるための少量多品種専用精米工場「飛翔館」（桶川工場隣接）が2002年2月に完成し、3月より稼動しました。HACCP管理手法により品質管理を徹底し、生産設備内で原料・製品をスピーディーに搬送できる空気搬送システムを採用しています。これにより既存工場の生産効率も上がり、新しい「こだわり米」の開発にもさらに積極的に取り組める体制になりました。

注：HACCP（ハセップ）とは、原材料の入庫から製品として出荷されるまでの各工程で細かく検査し、監視と記録を徹底する食品衛生管理の手法です。



外観



精米タンク

TOPICS

“2001年ジャパンフードサービスショー”
に出展しました。

JAPAN FOOD SERVICE SHOW 2001

2001年11月22日から11月25日までパシフィコ横浜で開催された「ジャパンフードサービスショー」に木徳神糧も出展。無洗米「楽しきわが家」や玄米焼おにぎり、減農薬胚芽米、タイ産香り米など当社製品を多数展示し、多くのお客様にご覧いただきました。



製法にこだわったギャバが豊富な『発芽玄米』を発売。



発芽玄米とは、0.5～1mm程度の芽が出た状態の玄米です。玄米には様々な栄養成分が含まれていますが、玄米を発芽させることにより、「ギャバ」の量が多くなることから、発芽玄米が注目されるようになりました。

注:ギャバとはアミノ酸の一種で、正式名を「(ガンマ)-アミノ酪酸(らくさん)」と言い、脳の血流を活発にし、脳への酸素供給量を増加させ、脳細胞の代謝機能を増進させる効果があるとされています。

木徳神糧の発芽玄米はココが違う!

粃 もみ から発芽させる製法。

だから しっかり芽が出るので「ギャバ」の含有量が多い!

原料は、秋田県産あきたこまち100%。

だから おいしい!

木徳神糧の発芽玄米を食べたお客さまの声(投書より)

「高校生の娘と私がこのお米の大ファンになりました。食感もよく、噛んでいるととてもおいしいです」(46歳女性)
 「いろいろなメーカーの物を試していますが、貴社の発芽玄米はプチプチ感がとてもよかったです」(39歳女性)
 「思ったよりも食べやすく、美味しかった」(35歳男性)
 「少し混ぜてみようかとまた買って、今では子供たちも大好きで半々の割合で食べています」(39歳男性)

糖尿病や腎臓病の方々に、おいしい『低タンパク米』の開発。

(株)バイオテックジャパンとの共同事業で、低タンパク米の開発と商品化を実現いたしました。低タンパク米とは、グルテンの含有量が一般の約半分、糖尿病や腎臓病などで食事療法が必要な方々に最適なお米です。従来の代用米と違い、お米本来のおいしさが魅力です。

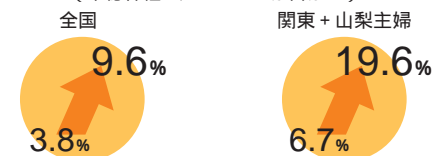
木徳神糧の旬な話題のココが知りたい!? Q&A

Q 木徳神糧のテレビコマーシャルを見たのですが、効果はあったのでしょうか?

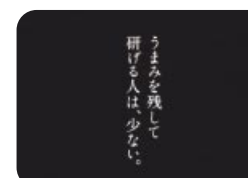
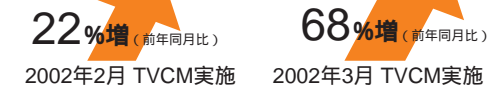
A 2002年2月より日本テレビ系、TBS系、テレビ東京系の各局でCMを放映。当社は、「木徳神糧」という社名をより多くの方々を知っていただくことを目的に、初めてテレビコマーシャルを放映しました。話題の無洗米と関連付けた「プロが研いだお米」編では、木徳神糧の無洗米と他社製品との違いを訴えました。調査結果によると、「木徳神糧」を知っている人は放映前が6.7%だったのに対し、放映後は19.6%と増加しました。また、当社ブランドの無洗米「楽しきわが家」の販売量も放映前と比較し増加するなど、テレビコマーシャルの効果によるものと判断しております。

テレビコマーシャル実施前後の認知度結果

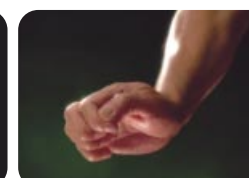
(木徳神糧を知っているか否か?)



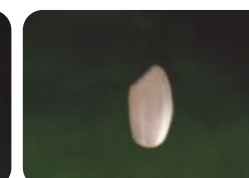
テレビコマーシャルによる自社ブランド「楽しきわが家」販売数量



「うまみを残して研げる人は、少ない」



プロの料理人がお米を研いでいる「手」



お米一粒(無洗米)



「プロが研いだお米、木徳神糧の無洗米」



炊き上がりの湯気



ごはん一粒



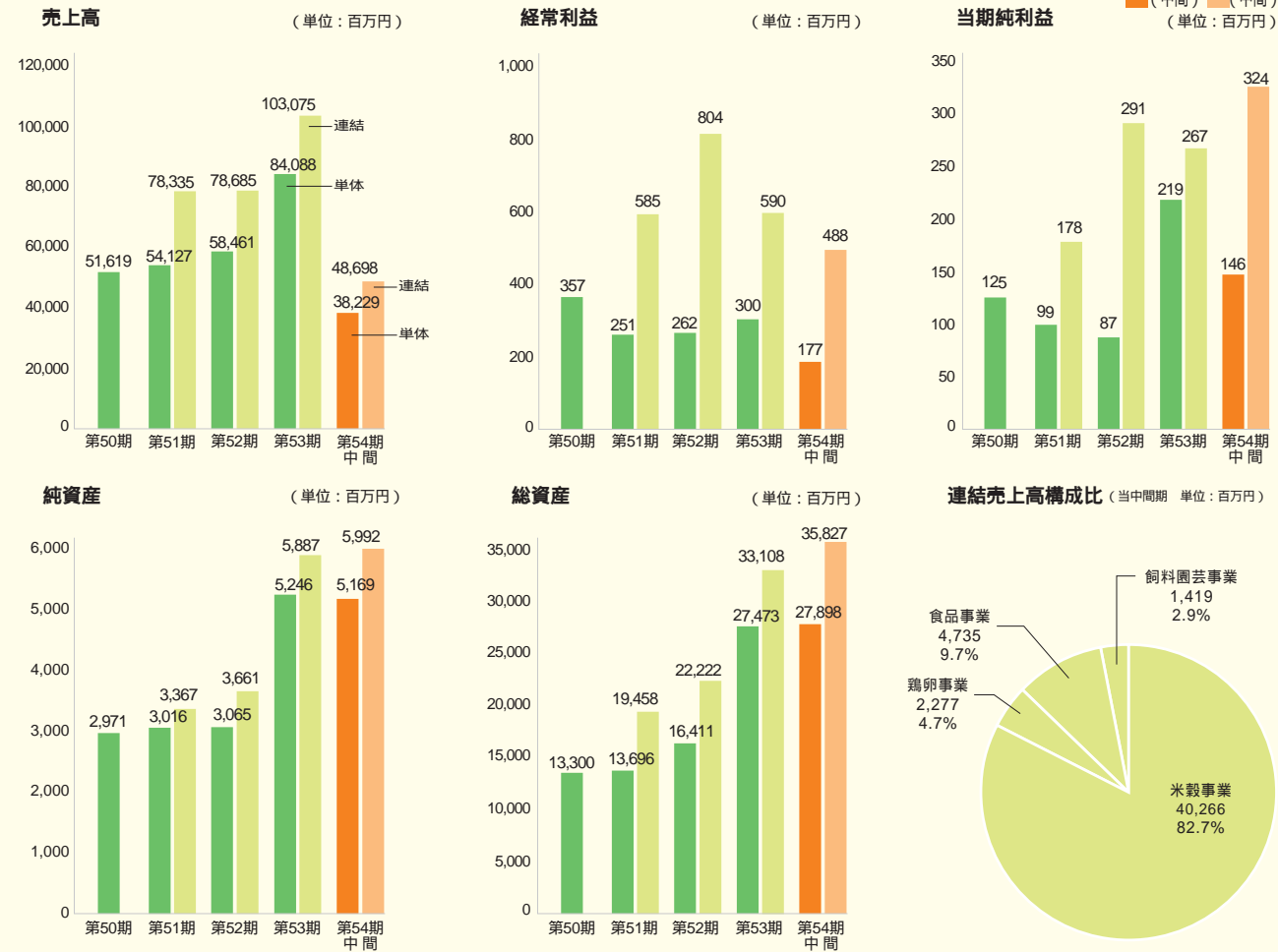
当社ブランド無洗米「楽しきわが家」



「木徳神糧 ~ ~」

FINANCIAL HIGH LIGHT

財務ハイライト



平成12年10月1日(第53期期首)に、木徳株式会社は、神糧物産株式会社と合併し、木徳神糧株式会社となりました。

区	分	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期中間			
売	上	高(百万円)	51,619	78,335	78,685	103,075	48,698		
			54,127	58,461	84,088	84,088	38,229		
経	常	利	益(百万円)	357	585	804	590	488	
				251	262	300	177	488	
当	期	純	利	益(百万円)	125	178	291	267	324
					99	87	219	146	324
純	資	産(百万円)	2,971	3,367	3,661	5,887	5,992	5,992	
				3,016	3,065	5,246	5,169	5,169	
総	資	産(百万円)	13,300	19,458	22,222	33,108	35,827	35,827	
				13,696	16,411	27,473	27,898	27,898	

上段は連結、下段は単体を示しております。

BUSINESS REVIEW

事業の概況

① 米穀事業部門

当中間連結会計期間では、作況指数「103」の影響もあり、計画外流通米の出まわり量が多く、全体的に自主流通米玄米の取引が低調に終わりました。精米は順調に伸長し、なかでも無洗米はテレビコマercialの実施もあり大幅に数量が増加いたしました。また、効率の良い精米製造体制に向けて長野県米穀卸株式会社及び木徳東海株式会社における精米製造を中止し、桶川工場並びに本牧工場に集中させ、一部を外部での委託製造に切り替えました。前期より桶川工場に隣接して建設をしておりました少量多品種専用工場「飛翔館」は、本年2月に竣工し3月より稼働いたしました。また、数年前より協力関係にありました備前食糧株式会社(岡山県邑久郡邑久町)の株式を追加取得したことにより、同社は当中間連結会計期間末より連結対象会社となりました。米穀事業の当中間連結会計期間における売上高は40,266百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は811百万円(同17.8%増)となりました。

② 鶏卵事業部門

鶏卵事業は特殊卵を中心に安定した業績を維持いたしております。当中間連結会計期間における売上高は2,277百万円(同6.1%減)、営業利益は46百万円(同79.4%増)となりました。

③ 食品事業部門

当中間連結会計期間における当社グループの食品事業の主力商品である鶏肉は、BSE(牛海綿状脳症、狂牛病)の影響を受けて代替需要が発生し、相場は堅調に推移いたしました。本年に生じた牛肉、並びに鶏肉の産地表示違反事件の結果、すべての食品における流通ルートの確認業務(トレーサビリティ)がこれまで以上に重視されることが想定されます。当中間連結会計期間における売上高は4,735百万円(同2.5%減)、営業利益は313百万円(同5.0%減)となりました。

④ 飼料園芸事業部門

飼料園芸事業では飼料部が取り扱う「カット稲わら」(輸入品)がようやく動き始めました。しかしながら、BSEの影響により牛用飼料の需要は下期において下降をたどるものと推察いたしております。飼料の副原料(糟糠類関係)は現状維持から若干増加する傾向にあります。園芸部においては在庫の圧縮など経費の削減を図りました。当中間連結会計期間における売上高は1,419百万円(同4.6%増)、営業利益は47百万円(同367.9%増)となりました。

FINANCIAL DATA

連結貸借対照表

科 目	(単位：千円)		
	当中間期 (平成14年3月31日現在)	前中間期 (平成13年3月31日現在)	前期末 (平成13年9月30日現在)
資産の部			
流動資産	22,823,607	20,633,552	21,396,599
現金及び預金	5,089,030	4,332,093	4,604,310
受取手形及び売掛金	11,611,836	10,339,324	9,898,516
有価証券	-	5,985	5,990
たな卸資産	3,883,310	3,945,988	4,457,448
未収入金	-	-	2,158,249
その他	2,363,449	2,097,442	359,946
貸倒引当金	124,019	87,262	87,862
固定資産	13,004,108	12,152,246	11,711,655
(有形固定資産)	(10,087,481)	(8,740,295)	(8,464,896)
建物及び構築物	3,837,751	3,132,869	2,974,821
機械装置及び運搬具	1,983,864	2,216,615	1,993,114
土地	4,146,421	3,219,000	3,219,000
建設仮勘定	459	60,100	166,616
その他	118,983	111,710	111,343
(無形固定資産)	(190,458)	(198,278)	(195,855)
連結調整勘定	-	3,393	-
その他	190,458	194,884	195,855
(投資その他の資産)	(2,726,168)	(3,213,672)	(3,050,903)
投資有価証券	1,275,048	1,692,364	1,562,470
その他	1,597,136	1,602,338	1,664,358
貸倒引当金	146,015	81,030	175,924
資産合計	35,827,715	32,785,799	33,108,255

科 目	(単位：千円)		
	当中間期 (平成14年3月31日現在)	前中間期 (平成13年3月31日現在)	前期末 (平成13年9月30日現在)
負債の部			
流動負債	20,310,248	20,462,325	18,109,111
支払手形及び買掛金	4,958,110	4,994,586	3,847,798
短期借入金	10,582,045	11,329,549	11,237,959
一年内返済予定長期借入金	2,124,257	1,453,688	1,418,153
未払法人税等	313,880	246,576	187,276
賞与引当金	197,540	258,665	240,341
その他	2,134,414	2,179,260	1,177,583
固定負債	9,014,322	6,281,443	8,746,000
社債	500,000	500,000	500,000
長期借入金	7,778,386	4,542,352	7,149,933
退職給付引当金	41,009	469,934	431,300
役員退職給与引当金	169,238	187,695	194,595
連結調整勘定	56,510	-	8,424
その他	469,178	581,462	461,748
負債合計	29,324,571	26,743,769	26,855,112
少数株主持分			
少数株主持分	510,508	379,710	366,057
資本の部			
資本金	529,500	422,500	529,500
資本準備金	331,500	147,500	331,500
連結剰余金	4,899,123	4,660,252	4,664,601
その他有価証券評価差額金	244,848	444,197	379,333
為替換算調整勘定	7,677	11,340	14,513
自己株式	4,658	790	3,335
資本合計	5,992,635	5,662,319	5,887,085
負債、少数株主持分及び資本合計	35,827,715	32,785,799	33,108,255

連結損益計算書

科 目	(単位：千円)		
	当中間期 (自平成13年10月1日 至平成14年3月31日)	前中間期 (自平成12年10月1日 至平成13年3月31日)	前期末 (自平成12年10月1日 至平成13年9月30日)
売上高	48,698,876	48,691,197	103,075,304
売上原価	44,402,822	44,431,266	94,598,320
売上総利益	4,296,054	4,259,931	8,476,984
販売費及び一般管理費	3,820,356	3,832,085	7,693,304
営業利益	475,697	427,845	783,679
営業外収益	209,208	133,028	251,959
受取利息	5,648	6,523	15,302
受取配当金	74,912	4,719	14,036
不動産賃貸収入	54,677	58,422	117,810
その他	73,968	63,363	104,810
営業外費用	196,588	193,521	445,613
支払利息	144,988	152,666	317,688
持分法による投資損失	-	-	293
不動産賃貸費用	37,764	37,635	74,906
その他	13,835	3,220	52,725
経常利益	488,318	367,352	590,024
特別利益	280,302	914,874	947,256
固定資産売却益	52,327	901,839	900,528
投資有価証券売却益	215,699	7,956	8,885
関係会社株式売却益	-	-	11,539
貸倒引当金戻入益	4,438	-	22,819
その他	7,837	5,078	3,484
特別損失	193,399	598,055	832,675
役員退職慰労金	-	123,570	123,570
固定資産売却損	17,952	32,394	34,473
固定資産除却損	39,812	34,170	38,241
投資有価証券売却損	791	5,516	17,704
投資有価証券評価損	3,006	12,378	12,804
ゴルフ会員権等評価損	-	56,760	67,850
貸倒引当金繰入額	-	20,273	176,090
退職給付会計基準変更時差異処理額	-	243,514	243,514
合併に伴う費用	-	45,225	45,225
退職金制度廃止に伴う精算費用	108,648	-	-
その他	23,187	24,251	73,199
税金等調整前中間(当期)純利益	575,221	684,171	704,605
法人税、住民税及び事業税	341,535	251,195	323,669
法人税等調整額	112,394	166,677	114,849
少数株主損益	21,970	3,154	1,405
中間(当期)純利益	324,109	263,143	267,492

FINANCIAL DATA

連結剰余金計算書 / 連結キャッシュ・フロー計算書 / 重要な子会社の状況

科 目	当中間期	前中間期	前期末
	(自 平成13年10月1日 至 平成14年3月31日)	(自 平成12年10月1日 至 平成13年3月31日)	(自 平成12年10月1日 至 平成13年9月30日)
連結剰余金期首残高	4,664,601	3,241,702	3,241,702
連結剰余金増加高	-	1,226,200	1,226,200
合併に伴う剰余金増加高	-	1,226,200	1,226,200
連結剰余金減少高	89,588	70,793	70,793
配当金	85,213	39,600	39,600
役員賞与	4,374	31,193	31,193
(うち、監査役賞与)	(-)	(1,000)	(1,000)
中間(当期)純利益	324,109	263,143	267,492
連結剰余金中間期末(期末)残高	4,899,123	4,660,252	4,664,601

キャッシュ・フロー	当中間期	前中間期	前期末
	(自 平成13年10月1日 至 平成14年3月31日)	(自 平成12年10月1日 至 平成13年3月31日)	(自 平成12年10月1日 至 平成13年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,293,080	1,518,538	3,634,152
投資活動によるキャッシュ・フロー	442,707	354,830	15,957
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,391,388	141,128	2,897,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,692	10,849	7,285
現金及び現金同等物の増減額(減少：)	468,677	1,011,730	744,923
現金及び現金同等物の期首残高	4,536,703	3,969,841	3,969,841
合併による現金及び現金同等物の増加額	-	1,311,785	1,311,785
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	5,005,381	4,269,896	4,536,703

重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の持株比率	主要な事業内容
内外食品株式会社	160,000千円	72%	畜産物加工販売業
株式会社クックマン	75,000千円	100%	食品製造販売業
株式会社ライスピア	50,000千円	100%	原材料用米搗精販売業 および穀粉製造販売業
株式会社あじとき	70,000千円	100%	惣菜店のFC本部
キトク・アメリカ社	200,000US\$	100%	米穀輸出版売業
アンジメックス・キトク社	716,000US\$	67%	米穀搗精販売業

会社名	資本金	当社の持株比率	主要な事業内容
木徳東海株式会社	180,000千円	100%	米穀搗精業
木徳九州株式会社	100,000千円	100%	米穀搗精販売業
木徳滋賀株式会社	95,000千円	100%	米穀搗精販売業
株式会社木徳備前岡山ライセンター	50,000千円	50%	米穀搗精業
長野県米穀卸株式会社	28,000千円	81%	米穀搗精販売業
備前食糧株式会社	98,000千円	41%	米穀販売業

単独財務諸表

科 目	第54期中間期	第53期中間期	第53期
	(平成14年3月31日現在)	(平成13年3月31日現在)	(平成13年9月30日現在)
流動資産	16,932,407	15,806,722	16,851,711
固定資産	10,965,825	11,035,477	10,621,351
(有形固定資産)	(7,388,306)	(6,804,206)	(6,684,341)
(無形固定資産)	(118,783)	(139,894)	(141,762)
(投資等)	(3,458,735)	(4,091,377)	(3,795,247)
資産合計	27,898,233	26,842,200	27,473,062
流動負債	15,105,476	16,149,539	14,606,489
固定負債	7,623,004	5,586,189	7,620,160
負債合計	22,728,480	21,735,728	22,226,649
資本金	529,500	422,500	529,500
法定準備金	445,646	253,125	437,125
剰余金	3,954,975	3,985,862	3,901,952
(内当期利益)	(146,758)	(303,096)	(219,186)
その他有価証券評価差額金	244,289	444,983	377,835
自己株式	4,658	-	-
資本合計	5,169,752	5,106,471	5,246,412
負債及び資本合計	27,898,233	26,842,200	27,473,062

科 目	第54期中間期	第53期中間期	第53期
	(自 平成13年10月1日 至 平成14年3月31日)	(自 平成12年10月1日 至 平成13年3月31日)	(自 平成12年10月1日 至 平成13年9月30日)
経常損益の部			
営業損益の部			
営業収益	38,229,106	40,804,669	84,088,643
営業費用	38,128,957	40,608,278	83,653,638
営業利益	100,148	196,390	435,004
営業外損益の部			
営業外収益	280,021	193,979	324,631
営業外費用	202,215	197,214	459,558
経常利益	177,953	193,155	300,077
特別損益の部			
特別利益	257,901	851,795	867,147
特別損失	242,307	502,332	740,406
税引前当期利益	193,547	542,618	426,818
法人税、住民税及び事業税	153,018	81,527	109,347
法人税等調整額	106,229	157,994	98,284
中間(当期)利益	146,758	303,096	219,186
前期繰越利益	69,476	63,112	63,112
合併引継未処分利益	-	55,945	55,945
中間(当期)未処分利益	216,235	422,155	338,244

株主優待のお知らせ

毎年3月31日及び9月30日現在における1,000株以上保有の株主及び実質株主の皆様に対し、当社の米穀製品を年2回贈呈いたします。
3月31日現在の株主の皆様には一律2,000円相当。
9月30日現在の株主の皆様には一律3,000円相当。

*平成14年3月31日現在の株主の皆様には、無洗米2kg×2袋、タイ香り米450g×2袋、タイ料理ブックを贈呈いたします。



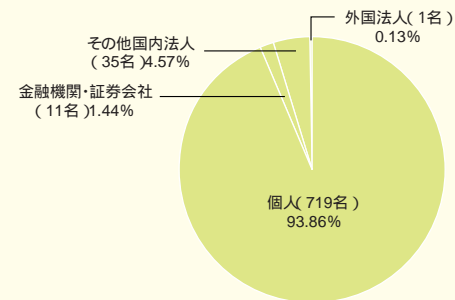
株式の状況

(1) 会社が発行する株式の総数	30,000,000株
(2) 発行済株式の総数	8,530,000株
(3) 株主数	766名
(4) 大株主	

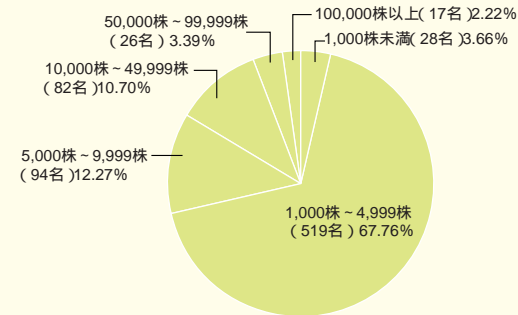
株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数	持株比率	持株数	持株比率
木村謙三	405千株	4.7%	-千株	-%
木村初子	351	4.1	-	-
木徳神糧従業員持株会	306	3.5	-	-
木村良	294	3.4	-	-
木村不動産株式会社	270	3.1	-	-
株式会社東京三菱銀行	240	2.8	-	-
稲垣辰彌	225	2.6	-	-
濱田精麥株式会社	218	2.5	-	-
木村徳兵衛	212	2.4	-	-

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第2位を切り捨てて表示しております。

株式の所有者別分布状況



株式の所有数別分布状況



会社概要 (平成14年3月31日現在)

商号	木徳神糧株式会社
事業内容	米穀事業、海外事業、食品事業、飼料園芸事業
本社所在地	〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー 14階
	TEL 03-5479-7111(代表) FAX 03-5479-6999
資本金	5億2,950万円
従業員数	190名(男性152名、女性38名)

役員 (平成14年3月31日現在)

代表取締役会長	稲垣辰彌
代表取締役社長	木村良
専務取締役	釜谷弘夫
常務取締役	足立英二
常務取締役	木村友二
常務取締役	水野正夫
取締役	志村彦雄
取締役	山本幸忠
取締役	海老塚明誠
取締役	天川正吉
取締役	松山正惇
取締役	平山三之淳
常勤監査役	土田秀孝
監査役	大川
監査役	中島

事業所一覧 (平成14年3月31日現在)

本店	東京都中央区銀座
本社	東京都品川区東品川
桶川精米工場	埼玉県桶川市
本牧精米工場	横浜市中区かもめ町

